

# 企業局主要施設



## 北谷浄水場

北谷浄水場は、沖縄本島中部の北谷町にあり、昭和 62 年度に供用開始しました。現在、1 日当たり 24 万 7,300 m<sup>3</sup>の送水能力を持ち、水道用水では県下最大規模の浄水場で、オゾン・活性炭処理の高度浄水処理施設を有しています。

また、平成 9 年度には水道水の安定供給を図る目的で、1 日当たり 4 万 m<sup>3</sup>の海水淡水化水を生産する国内最大級の海水淡水化センターが供用を開始しました。

さらに、硬度平準化対策を目的とした硬度低減化施設が、平成 15 年度に供用を開始しました。

水源は、西系列河川、中部河川、倉敷ダムや嘉手納井戸群等で、各処理工程を経て浄水された水は、海水淡水化水とブレンドされ、北谷町を始めとする中部と南部の 7 市町村に供給しています。

供給先市町村：北谷町・沖縄市・北中城村・中城村・宜野湾市・浦添市・那覇市

※各市町村の地区によっては、供給元の浄水場が異なることもあります。



## 西原浄水場

西原浄水場は、沖縄本島中部の西原町にあり、昭和 52 年度に供用を開始しました。供用開始から 4 期にわたる増設工事により、昭和 54 年度から 1 日当たり 16 万 500 m<sup>3</sup>の処理が可能となりました。

水源は、福地ダム等の北部ダム群を水源とした久志浄水場の沈でん処理水で、西原町を始めとする中部と南部の 9 市町に供給しています。

平成 17 年度には、喜仲調整池からの原水の落差エネルギーを利用した小水力発電設備も設置され、その電力は浄水場で有効利用し、電力使用量の低減と環境への負担軽減を図っています。

また、同浄水場内には、1 日当たり 8,000 m<sup>3</sup>の送水能力を有する工業用水専用の小那覇増圧ポンプ場があり、主に糸満工業団地に供給しています。

供給先市町村：西原町・那覇市・浦添市・与那原町・南城市・豊見城市・糸満市・南風原町・八重瀬町

(うち、南風原町と八重瀬町の 2 町は南部水道企業団に対して供給)

※各市町村の地区によっては、供給元の浄水場が異なることもあります。



## 水管理センター

水管理センターは、平成 4 年度に県庁 12 階の配水管理課に設置されました。

企業局の水に関する様々な情報を管理し、各市町村に必要な水量を効率的に供給するため、各浄水場を総括して安定した水運用を行うとともに、緊急災害時における情報拠点として中心的な役割を担います。

